

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	123芸術・文化の振興		
施策のねらい (めざす姿)	地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。また、歴史、文化遺産が適切に保存、継承され、周知・活用されています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	笠井 真利子

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	芸術文化の発表機会、鑑賞機会の増大と芸術文化活動への更なる参加機会の周知を図る。	③改革・改善内容	芸術文化の発表機会、鑑賞機会を引続き提供するとともに、芸術文化活動への参加を促す取組についても実施する。また、文化財の保護を推進するため新たな指定文化財について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	鑑賞機会の増大として新たに「美術鑑賞教室」を実施した。発表の機会及び鑑賞機会の増大として、新たに「市民創作ミュージカル」「親子と楽しむオペラ」を行った。また、他市の市民会館などにも広く、きらりホール自主事業の周知を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	①市民 ②文化財	意図(対象をどうするのか)	①地域に根ざした市民文化が想像され、その活動が広く展開されている。②歴史・文化遺産が適切に保存・継承されるとともに周知・活用されている。
②施策の概要	芸術・文化の振興を図るため、芸術鑑賞の機会を提供するとともに、文化創造事業を市民との協働により実施する。歴史・文化遺産を適切に保存・継承するとともに、教育普及を図るため市民との協働による国史跡周知普及事業や、歴史・遺跡に関する企画展、講座等を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	きらりホールが整備されたことにより、市民の芸術文化に対する関心がさらに高まることが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	市民文化祭や歌舞伎、能などの鑑賞会、様々なきらりホール自主事業などを実施するほか、新たに平成27年度から「美術鑑賞教室」「市民創作ミュージカル」「親子で楽しむオペラ」を実施した。また、他市の市民会館にも広く、きらりホール自主事業の周知を行った。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,867	1,866	1,725	2,800
	ii	指定文化財数	件	31	31	31	32
	iii						
③基本事業成果指標	i	市民文化祭参加団体数	団体	129	122	121	138
	ii	きらりホール自主公演観覧者数	人	—	5,614	5,854	4,200
	iii	きらりホール自主公演市民協力者数	人	—	84	79	100
	iv	市史等刊行図書数	点	54	55	58	60
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算			
事業費(千円)	195,317	240,785	(単位:円)	2,206円	191,120		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	芸術文化の振興を図るため、市民との協働で芸術文化の発表機会・鑑賞機会・周知普及機会を作っているため、今後も継続的な市民の協力を得る工夫が必要である。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	前回の評価で掲げた内容については、芸術文化の発表機会、鑑賞機会の増大において、新たな取組を行う事が出来た。一方、芸術文化活動への更なる参加機会の周知については、今後も検討する余地がある。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	→ 維持
③特に重点化する事務事業	きらりホールの管理運営に要する経費		
④上記方向性の説明	平成26年度にオープンした「きらりホール」での様々な文化創造事業は、本市の芸術文化の振興に大きく貢献するものとするため。		